

業 者 選 考 理 由 書

- 1 業 務 名 森林調査測量委託業務
- 2 業務の場所 道有林 渡島東部管理区内
- 3 契約の方法 随意契約
- 4 契約方法の根拠
 - ・ 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号
「～その性質又は目的が競争入札に適しないもの」
 - ・ 北海道財務規則運用方針第3節（随意契約）関係第1項（2）
「契約の目的物が代替性のないものであるとき」
- 5 契約の相手方 一般財団法人 北海道森林整備公社

6 契約の相手方の選考理由

道有林では、事業の効率化やコスト低減のため業務の外部委託を推進してきており、森林調査測量業務についても同様の趣旨から委託を実施しているところである。

これらの業務は、当森林室が整備管理計画に基づいて実施する森林整備事業や森林資源把握のため恒常的に実施する森林調査であることから、総合的・一体的な業務としての性格を有している。

【業務内容及び数量】

業務内容	業務予定量					
	合計		当初		追加（2定）	
	数量	予定金額 (千円)	数量	予定金額 (千円)	数量	予定金額 (千円)
伐採木調査	40340 m ³	21,722	32740 m ³	17,393	7600 m ³	4,329
野ネズミ生息数予察調査	10 箇所		10 箇所		箇所	
人工林区域調査・測量	115 h a		88 h a		27 h a	

※平成31年度は、骨格予算であることから当初と2定での区分にて発注（設計変更）

※当初と2定での業務量の区分けの考え方としては、野ネズミ生息数予察調査は当初にて全量を、伐採木調査及び人工林区域調査・測量は面的まとまり等を勘案して一体となるように分離

（1）業務内容の特殊性

森林の持つ公益的機能の維持増進を図るために行う森林整備は、森林現況を的確に把握して実施する必要がある、その内容は、資源の把握及び伐採・更新・保育・保護や路網整備など多岐に亘っており、これらは相互に関連性を有している。

これらの森林整備を計画的に推進するためには、各事業の基礎となる森林調査を総合的・一体的な業務として実施することが必要であり、かつ、業務内容は一般的な調査業務に比して次のとおり森林施業に関する専門的な知識と技術を必要とする特殊性を有している。

・ 伐採木調査

立木販売事業のための伐採木の選定及び樹種、歩止、品位の判定と直径、樹高の判定調査を実施するもので、森林資源の保続を考慮した伐採木の選定及び立木価格評定の基礎となる立木歩止、品位の判定等に専門的な知識と技術を必要とする。

・野ねずみ生息数予察調査

野ねずみの発生予測を目的として野ねずみの捕獲調査を実施するもので、確実な捕獲と種類の判定に専門的な技術と知識を必要とする。

・人工林区域調査・測量

更新及び保育計画地の測量を実施するもので、周辺環境及び事業目的に即した区画の調整に専門的な知識を必要とする。

なお、各調査対象地が広範囲の森林内であるため、指導監督や現地打合せ等が一般業務に比較して容易でないため、現地での適切な判断が必要となる。このため、受託者自らが道有林の果たすべき役割、及び当森林室の森林の現況を理解し遂行することが必要となる。

(2) 契約の履行要件

当該業務の相手方の要件としては、

- ① 森林に関する知識と経験が豊富であること
- ② 道有林の森林施業に精通していること
- ③ 道有林の地況や林況に精通し、母集団等の林相区分が的確にできること
- ④ 道有林の伐採木調査に精通し、立木の適正評価に必要なデータを収集できること
- ⑤ 調査結果に信頼性があること

(3) 選考理由

- ① 各調査の特殊性に対応するには、当該業務を総合的に遂行する管理能力及び技術者を保有し、専門的な知識・経験等を有していること

また、管理区の森林資源や地理的条件に精通し、道有林の森林整備の展開方法や役割について深い理解を持っていることが求められる。

そして、これらの業務を的確に遂行する能力を有する者は、「一般財団法人 北海道森林整備公社」以外にない

- ① 同公社は、「道有林野事業に係る調査測量業務委託事務取扱要領」第4の1並びに2（別表2「技術者の資格区分」）に定める技術者を多数保有しているとともに、業務処理経験が豊富で、昭和61年より当森林室から受注した同様の調査測量業務を適正に履行している。

【技術者数】

資格区分	合計	(内訳) 本社及び出張所					
		本社	札幌	函館	旭川	北見	帯広
主任技師	13名	5	1	2	2	1	2
技師	3名	2			1		
技師補	5名	3		1		1	
測量技師	14名	5	1	2	3	1	2
測量技師補	3名	3					
測量助手	3名	2				1	

※複数の資格を有する者にあつては、対象資格全てにて計上しているため実職員数とは一致しない

※北海道森林整備公社職員のみ対象

【契約履行実績】

金額：千円

業務内容		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		数量	契約額	数量	契約額	数量	契約額
伐採木調査	m3	17,614	8,898	44,530	19,008	40,851	18,540
人工林標準地調査	箇所						
天然林標準地調査	箇所						
野ネズミ生息数予察調査	箇所	5		5		5	
人工林等区域調査測量	ha	39		88		66	

以上、契約の履行要件を充分満足し、かつ、当該契約を確実に履行できるものが他にいないことから、当該契約の相手方として「一般財団法人 北海道森林整備公社」を選定するものである。